

勤學書錄

下

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5





2769

勸善録卷之下

目録

- ① 下弦国香取郡津崎里の子孫まぬがら
- ② 同郡依原里に本をまづかぬやしが事
- ③ 同郡大崎村の赤まづかぬがら
- ④ 同郡依原里の縫宿を政大崎の並妻の子が事
- ⑤ 同郡押砂村の七郎右衛門が妻をん女が孝貞の
状がら
- ⑥ 同郡小見川村にまづかぬがまづがら
- ⑦ 同郡大崎村の赤まづかぬがら

八 下波国守於之依柳系村の武太徳つがら

九 同村の吉部次が事

十 同国守於宮城下押切町れ宮守屋守を徳が
妻くくがら

十一 同不秩炮町れ下波守を依が後並同国麻江
れ里人平義がら

十二 同国守於之曲原町の要助がら

十三 同国麻江れ里の儀をよ四部が娘はまがら

十四 同国河内郡江曾村れ吉太徳つが娘れゆ
が事

十五 同郡彦彩田村れ吉太徳つが子然之部がら

十六 同郡小林村のよかき徳つ娘わんがら

十七 同国守於之押切町会田屋勇太徳つまゆのら

十八 同国守於之依柳河守れ同屋平太徳つが後

妻れら

十九 同依柳系村の祐次が事

二十 同国守於之南新町れ後七が忠子介之助

が事

二十一 同不丈町れ合之義が娘つがら

二十二 同国守内村の忠を部がら

- ① 同村れ名に栄は昇が始ちかかろ
- ② 同国堀米村れ捨と屋がろ
- ③ 同国河原谷村の徳を傳つがろ
- ④ 同村れ谷屋を家まぬがろ
- ⑤ 同国上戸上村れ善の志れ事
- ⑥ 同国宇都文の岡本宇を傳つ又子が事

勸善録卷之下

東都

知非齋源與清文儒著

門人

赤松知則

関 常政 校

① 下総国香取郡神傍れ里の養老傳が子に子孫とありあり
 父ハ八十九歳の老まにて。十七八年世にありつひをつとむる
 かもち一ほとぬてたうべけと。子孫一日もたたり
 ちく一をどひとめけり。母ハ十一年およ中風とどつてひ
 て身より一が。それ看病いとく一けり。子孫を養へけ
 れハ五人の人れ雇人とらり。養へる家業一して父をわ

一 ちひいけり。かゝる孝子なれど、いつたなるむくのや、孝に戸
 にはるも、おれなまを引負ひきおこし。見子養つくのひかへひべた
 と、ちたりぬ。されど、孝人れ子養、いらにも御ごおたすま。村
 内みまがられ、商人、持屋、日雇ひまわらのあが、忘たりければ、それ、
 さまぬ、おの、引負、令、新貴しんきおとつ、けひけり。子養、
 四十、四、年、よ、及、す、で、妻、も、あ、ら、で、父、は、孝、者、一、け、る、と、
 いた、く、な、げ、た、で、い、う、で、妻、を、む、う、つ、と、け、り、け、れ、
 と、さ、む、た、ご、く。お、お、村、の、係、屋、が、女、だ、ん、と、い、へ、る、と、
 見、ひ、り、だ、ん、も、孝、心、す、た、女、と、す。ま、ぬ、ま、に、老、父、と、
 ち、ひ、い、け、り、と、な、ん。

二 同郡佐原、れ、里、の、お、本、重、き、湯、が、娘、や、い、い、孝、貞、
 て、孫、養、ひ、べ、た、う、す、ま、ひ、い、お、お、や、一、春、母、を、
 て、九、月、の、間、ま、づ、ひ、む、づ、か、り、け、る、よ、ま、あ、く、
 と、ま、お、父、れ、を、ま、湯、候、と、な、が、一、と、う、ろ、ま、
 三 同郡大崎村の、お、ま、湯、ま、ぬ、れ、の、お、だ、ご、ひ、お、
 よ、て、お、ま、湯、と、な、げ、ま、人、の、お、ま、
 といへり。

四 同郡佐原、下宿、湯、宿、屋、政、右、衛、門、が、子、令、た、
 け、る、な、れ、ど、父、母、の、お、お、ま、
 孝、心、一、と、う、一、父、政

いへせび不便なるべしものふしむごまへまをき居
申田れ縮着大の孫子立致れとありて。一七日の合せり。
りんねのやうかくまれの合一もあも取れるよ。初めあり。
こゆるをいふぐはぐはにあらびとて。家業をいそいそいみかへり
とらに合して。まよかをさうけりてあらん。

◎同歌大崎村れなき湯まゆの者い。たぐひかを若人にて。
家業をさしげも。人れたやよかをつくひとをいひい。ま
ゆもれ一月は四日づい人よもを成るひ日とて。病家
ちごの農するわくれだるものを賜ひり。まへに乳産を
合ちごよおがごとくして。無想れふいとほしとあらん。

◎下申国守於おまぬ折原村の武吉屋つハ心廉並にして。
孝行信義の人なり。老よ乃路は落たる名塊。本れと一な
どれ。悪て人馬れまそことなふべしおとを捨。又ハ捨れ毀れ
たるとを捨て。いうよいそがごとくは時といひま。これとえさひ
てとて。又田よもをいそかひるよ。家人の若別がく。
わが苗れたらよれとをりて。村中悪作れを他とね
がへり。事首ハ年々に初種まをりてあり。ととてうやまひ。
友にまじしに滋あり。それ又とてめ妻とをむかへが。
故より一年ごかりとてまぬ。それ後の妻を居つとて
せけり。茶葉も貞操とまのりて。遂に他まに従つて

して。やめぬてこりけり。或は母の父母にせやくおくれ
たれば。せめてかれ父の爺あは。姫とをだまや。しむひまぬ
せん。とて。くしそその志と告げよ。姫とて。義とをむけり
とて。まうこび。されど。或は母の父とて。母れごとく
孝をせり。とて。せん。

⑩ 同从柳原村れ七爺の。身れり。画し。て。人をせめむ
ふ。海に。老人。こ。村。日。は。農。り。ね。くれ。た。る。の。何。れ。は。自。己。れ
業とを捨てて助ること。老。を。志。す。の。木。穀。と。貸。て。これ。を
二。三。の。ひ。こ。と。な。す。一。家。内。れ。五。十。人。あり。こ。し。ぐ。く。お。ま。に
似。た。る。者。ん。七。爺。八。十。四。歳。に。お。よ。ぶ。ど。も。お。健。く。て。

いま。ぐ。災。難。よ。お。さ。さ。る。ハ。積。善。れ。報。ち。る。べ。い。

⑪ 同国守於宮城下れ押切町の。高。屋。半。左。衛。門。が。妻。を。と。り
女。と。す。孝。行。貞。良。の。心。い。と。深。かり。けり。婚。一。人。あり。名。と。よ
ぬ。女。と。い。へ。り。ま。行。あ。し。く。し。て。年。こ。に。借。銀。つ。り。父。母。妻
子。と。と。と。ご。む。び。づ。た。御。考。け。れ。は。遂。に。男。を。放。ち。て。行。方
志。し。び。ち。り。に。けり。妻。れ。く。女。に。へ。た。か。く。な。く。隠。抱。け
た。お。れ。ま。ご。い。さ。ら。と。男。の。志。ま。ご。と。と。つ。と。あ。て。父。母
婚。し。と。と。告。げ。り。十。年。れ。者。よ。父。母。も。母。ま。か。り。け。る。に。それ。看
み。お。も。と。と。め。て。卒。老。を。と。つ。ひ。何。り。さ。は。ぬ。こ。ゝ。に。も。い。ひ。つ
く。か。た。し。を。敷。れ。人。い。と。心。づ。く。し。く。お。ま。ひ。け。れ。は。後。れ

を有^おて居^ゐり。同^{どう}り人^{ひと}これを辞^し儀^ぎはれども不可^ふし
して一人をぬ^ぬき居^ゐり。二人をぬ^ぬき居^ゐり。二人をぬ^ぬき居^ゐり。二人をぬ^ぬき居^ゐり。
心^{こころ}ざしくはる。

● 母^{はは}一人^{ひとり}のものがたり。宇^う於^お之^の曲^{まが}所^{ところ}町^{まち}に派^は治^ぢ伊^い集^じ
がまこと要^{よう}助^{すけ}といふ。母^{はは}いよやく世^よをさるぬ。父^{ちち}伊^い集^じ十^{じゅう}
はあま^{あま}り。き^きあ^あま^まり^りて身^み体^{たい}自^じ由^{ゆう}な^なる^るび。それ^{それ}う^う人^{ひと}に老^{おい}
か^かけて^{けて}ま^まま^まぐ^ぐの^のく^くぬ^ぬり^りご^ごと^とを^をぞ^ぞい^いご^ご。要^{よう}助^{すけ}は^はこ^こ
もそれ^{それ}心^{こころ}は^はた^たぐ^ぐさ^さび。を^をれ^れき^きは^はた^たぐ^ぐの^の添^そぶ^ぶて^て層^{かさね}と
あ^あた^ため^めさ^させ。五^ごれ^れあ^あつ^つた^た日^ひに^に願^{ねが}ふ^ふと^とも^もな^なる^るび^びて^てひ^ひ

一^いか^かし^しむ^む。家^{いえ}い^いと^と多^{おほ}く^くて。ち^ちり^りの^の心^{こころ}は^はま^まま^まと^とせ^せね^ねど。
父^{ちち}が^が目^めを^をし^した^たら^らあ^あま^まり^りの^のか^かた^たく^くを^をさ^さら^らび^びも^もう^うか^かな^な眠^{ねむ}れ
る^るや^やと^とあ^あま^まり^りか^かて^て派^は治^ぢの^のま^まま^まと^とい^いつ^つ。い^いと^とあ^あま^まり^り
そ^そく^くて^て何^{なに}げ^げり^り。か^かく^くあ^あま^まり^りは^はた^た一^{いっ}た^たあ^あま^まり^り。更^{さら}に^にあ^あま^まり^り
い^いと^とあ^あま^まり^り。孝^{こう}れ^れ心^{こころ}は^はか^から^らい^い。あ^あま^まり^りを^をれ^れま^まま^まに^にあ^あま^まり^り。

● 同^{どう}人^{ひと}は^は後^ごに^に同^{どう}国^{こく}麻^ま呂^ろの^の後^ごに^にあ^あま^まり^りと^と四^し弟^{てい}が^が娘^{むすめ}は^は
ま^ま女^{むすめ}とい^いふ^ふ。初^{はつ}め^めと^と母^{はは}は^はあ^あま^まり^り。祖^そ母^ぼは^はあ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りは^はあ^あま^まり^り。
て^てい^いと^とあ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りの^の業^{わざ}に^にい^いと^とあ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りは^はあ^あま^まり^り。
ま^まあ^あま^まり^りの^の側^{かた}に^にあ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りは^はあ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りは^はあ^あま^まり^り。
あ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りは^はあ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りは^はあ^あま^まり^り。あ^あま^まり^りは^はあ^あま^まり^り。

用にてびくして。祖母れ口よかきく物をも買てびくめ。祖母
 か何れよりすーとて喰やと。いと嬉しなうりもえよろこ
 びけり。年十六七にもなりーころ。より兒をれこらが
 けさうしきさをも。かつりえだよせびて身をもいーく。い
 さかもせれそーりにあふことなり。食物も服と汁れ
 およよめぐりれ物もそへびくしてさひきり。祖母といふと
 にハけは実をさまぬと。自己いつゆれとを泣けり。祖母
 手老ておたふー。自身さうび二使もさびくして。お
 ハ六七なりあまりて起出ると。よく介抱しおめひ
 か目もあやねど。夏も飛眠せび。よく紡績のさかや

つとあけり。さ敷の人ばまがさうと食とれれれん来うま
 いぬせのどい夏ねむたをるわらさぬと感ぜさうハなり。
 祖母いぬいさうがひて長がみ。いりく不自覺なり
 ーか。いさう介抱してふとより。九十の歳にて世と
 終るまで。一日も意なく暮暮しーけり。ハ。いさうたうと死
 こぞいかりや。

●同人の後。同国河内郡に曾嶋村の者たあつが娘
 ささゆいといひり。それおにむ希たあつとつひあれど。
 齡いおくれたれバ。父の嗣はあつがとて。いさう女が年
 廿一の時。婿をとつてあつがつがーめひるが。あつが

とげまをされて。といお起れ勇在候つといされたるこそぞ。

●同国守於ま辰柳河原の同屋平太徳つが妻。産後より
まかり一後。小児をば人れ許しやりて妻をせけり。さて後妻
とむせり。たやどなくも。みり子うみけり。後妻まは後
て。日かける子も人よや。まよりせ。と妻れ子をもあよむり
して。家乳して。もぐみあや一けり。とまん。

●同辰柳原村の祐三といへり。祖父父子こまぬ持たる意
孝の家ちり。平孝の正一。母やけれあやて。とまより。
人よき。とるに信義ありて。めぐみあやれむ。心よかりとい
へり。

●同国守於ま南形町れ。友七が妻。子に外に助とて。十
歳れ。孝あり。は左隣町れ。はま徳がけり。めにて。小谷三
が孝。孝とま。孝行。廿二にして。家業とせ。げ
けり。ま。同志。社中。人許つ。とて。孝に孝行れ
た。のめ。あや。か。い。は。つ。と。まん。

●同不丈町れ。合義とて。酒屋の改目とて。業とせ。ま
けり。娘。いつ。女とて。十四歳。かりけり。が。孝志。いと。あ
り。父母の申らひ。と。あ。つ。く。だ。ふ。の。な。ど。あり。か。ど。
つ。と。一。徳。と。と。め。て。今。の。親。子。む。つ。ま。く。て。ま。か
え。け。り。と。まん。

●月国が於まを迎れ寺内村に惣を弟として、と著
 ちありけり。と歌上篠村の秀翁とらふ齒サ二葉の
 若志こらめのやくびさう徳高うまれの收斂うまれなりけるが。何れよふいたり
 つりりや。物もの相あひまとちりて礼れいがと一見けんもさしあま
 たむびこかくていいうちる様さままごといでんもさり
 里さとがた一とて。親族しんぞくをかりて一問いつもんなるふに翁おきな玉たまこ
 とと及およよおよべり。されど本心ほんしんよかへるべたよま
 ねむ。永ながく許ゆるし出でひま一くや一と。寺内村の翁おきな葉は
 以も弟ていと。これ惣を弟ていいとあされよおひ。いかし一と
 恥はぢむやとて。かれ親族しんぞくよさかり。秀翁しうおんと惣そうを弟ていと
 にむかへとらぬ。さやお内うちれよのりろともねんとつ
 て介かい抱ぶし。神かみ仏ぶつよ初はつて療りょう治ぢしけるよ。その志し一と
 て秀翁しうおんが親おや礼れい年ねん愈ゆしけりとちん。

●周村れ翁おきな葉はを弟ていと弟ていが娘むすめちりい。まづかな十葉じふはれ
 ごと。いと孝心こころふりくして。父母ふぼよよくつく。母ははの養やしなや一と
 れらるしみをわひやりて。それ恩おんの厚うすたことをい
 か一とみけり。又また終しゆう夕せきよあをあこむを淨きよめて。父母
 れさかえを神かみ仏ぶつよいれけりとちん。

●周国が於まを迎れ寺内村の翁おきな葉はが子こ捨すてる必かならずハ。
 齒は十葉じふはりて志しが孝こころ学がくの門かど人ひととちり。師し親しんとちり

かみ

〇三

とせり。字之傍が子れ令五も孝心こころふかたりのちりといへり。

勸善録卷之下終

松屋高田大人著書目録

擁書漫筆

五冊刊行

賀茂真淵翁家傳

一冊刊行

俳諧歌論

二冊刊行

棟梁集

和文集

一冊刊行

竺志舟物語旁注

二冊刊行

国鎮記

諸国富士

一冊刊行

十六夜日記残月抄

五冊近刻

隅田川御覽記

一卷写本

相馬日記

四冊刊行

積徳叢談

一冊刊行

樂章類語抄

五冊刊行

歌躰辨

一冊近刻

東遊神樂
催馬樂風俗

松屋叢話初編

一冊刊行

松屋筆記

五十卷写本

勸善録下

同 二編 一冊 刊行

歌學大成 五十卷 未刻

更級日記抄 三冊 近刻

勸善録 三冊 刊行

宇都く物語 一冊 写本

文政三年四月癸亥

浅草南馬道町

栗村半藏

江戸書林

京橋銀座三丁目

伊勢屋忠右衛門

